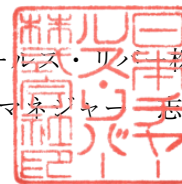


2021年7月

お客様各位

日本チャールス・リバー株式会社
品質保証部 マネージャー 志津野 博



弊社マウスにおける微生物モニタリング項目追加のご案内

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では、高品質な実験動物の安定供給を実現するために、国内生産動物の微生物モニタリング、遺伝モニタリング、飼育環境モニタリングを実施しています。この度、定期微生物モニタリングの免疫不全マウス SPF 検査項目に Murine Chapparovirus (MuCPV) を追加することとなりましたのでご案内申し上げます。本項目の追加はチャールス・リバーグループの取組みとして実施いたします。追加項目の詳細につきまして以下ご参照下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 追加項目

➤ Murine Chapparovirus (MuCPV)

MuCPV は免疫不全マウスの封入体腎症 (IBN) 原因ウイルスで、Mouse Kidney Parvovirus (MKPV) の名称でも知られています。マウス腎尿管上皮細胞における核内封入体形成は 40 年以上前から観察されていましたが、長らく原因不明でした。2018 年に Roediger らが原因微生物として報告して以降、MuCPV が注目されるようになりました。尚、Murine Chapparovirus の名称は、国際ウイルス分類委員会 (ICTV) による暫定的なものです。

2. 実施内容

対象施設：免疫不全マウスを飼育するバリア飼育室・アイソレータ飼育室

※免疫正常マウスも SPF 項目外としてモニタリングを実施いたします。

実施頻度：バリア飼育室 年 4 回 アイソレータ飼育室 年 1 回

検査手法：PCR 試験

3. ご報告開始時期

2021 年 6 月度レポートより

4. お問い合わせ先

営業部 TEL: 045(474)9340

FAX: 045(474)9341

以上